豊橋の心意気、手筒花火。

天空に向かい火柱を噴き上げる大きな筒を
体中で支える男たちの勇壮な姿。
あたりを真赤に染める炎と轟音。
花火のイメージをくつがえすダイナミックな行事が手筒花火です。
豊橋で450年以上も前から町の人々に愛され
受け継がれてきた理由を、ひもといてみましょう。

Tezutsu Hanabi website

魂の炎が上がるまで

～手筒花火の支度～

手筒花火は、花火の揚げ手が自分で作るのが基本。年長者の厳しい指導を受けながら、2ヵ月ほどかけて入念に準備します。

※手筒花火の作成方法は多数ありますが、本パネルでは豊橋祇園祭がおこなわれている吉田神社を中心とする氏子八ヶ町のうち、上伝馬町を一例として紹介します。

【竹取り】

まずは、手筒の材料となる竹の確保から。町ごとに秘密の竹林に出かけ、肉厚でまっすぐな竹を選んで切り出します。

First of all, performers themselves go to each secret forest to pick up right bamboos for Tezutsu Fireworks.

【節抜き】

竹は1mほどの長さに切り揃え、ノミを使って節を抜きます。凹凸がないように丁寧にヤスリでこすり、自然乾燥させます。

In order to fill gunpowder into the bamboos, all of the interior nodes are removed.

【鏡入れ】

「鏡」は手筒花火の噴出口。厚さ30mmほどの檜の板を竹筒の口に合わせて切り出し、隙間ができないようにはめ込みます。

Put “Kagami”, which works as an exhaust nozzle for the fireworks, on the bamboos.

【縄巻き】

竹筒に麻袋を巻いて土台を作り、荒縄を巻いていきます。強く引き締めながら木槌で打ち付け、緩みなく巻き締めます。

The performers wrap the bamboos in a couple of layers of varying thicknesses of straw rope to strengthen the bamboos.

【手筒込み】

上下逆にした手筒に火薬を詰め、手筒花火の見せ場「ハネ」を生む「はね粉」を置いて、新聞紙で底を押し固めて蓋をします。

Pack gunpowder evenly in the bamboos for beautiful fireworks.

【神社へ】

長老が清めの塩を撒き、煙火長が拍子木を叩くのを合図に、神社に向かいます。

The performers head for local shrines, scattering salt for exorcism.

手筒花火の歴史

起源

吉田神社祭礼花火の始まり。

手筒花火の歴史は450年以上前にさかのぼると伝えられます。「参河国名所図絵」内で記述のある「古老伝」（所在不明）には「永禄元（1558）年天王社祭礼花火と云事初る」と書かれており、このことから吉田（現在の豊橋）が日本での花火の発祥地と伝承されています。

[illegible]

戦国

火薬の広まりとともに発展。

花火は、天文12（1543）年のポルトガルからの鉄砲伝来以降、火薬の広がりとともに発展していったと考えられています。その後、天正3（1575）年の長篠の戦い、慶長5（1600）年の関ヶ原の戦いを経て、火薬の可能性に気づいた徳川家康が三河衆に火薬の製造を任せたことがこの地方での花火の発展につながったと言われています。

江戸

〝天下一〟の壮麗な花火に。

江戸時代の中頃になると、豊橋の花火は全国的にも名を知られるようになります。「三河国吉田名蹤綜録」によると、他国からも多くの人が見物に来たと記されています。花火が揚げられた場所は、吉田城の城下町・吉田の繁華街だった本町（現在の新本町周辺）。軒が連なる大通りで花火が揚げられていたそうです。享和2（1802）年にこの地を訪れた人気戯作者・滝沢馬琴は、著書「羇旅漫録」で吉田の花火を「天下一」と賞賛しており、当時の吉田の花火がいかに隆盛を極めていたかが読み取れます。嘉永4（1851）年の「参河国名所図絵」には、三日間に及ぶ当時の祭の様子がえがかれています。初日は午後2時頃から「昼揚げ」が始まり、「袋物」と呼ばれた傘や布なども打ち揚げていたようです。夜になると打ち揚げ花火や仕掛花火、翌日には「間き物」という細工花火などが揚げられたと記録されています。

[illegible]

明治－大正

市民の暮らしに根づき町ごとに競演。

明治時代に入ると吉田城主からの助成がなくなったことなどから、花火は一時途絶えてしまいます。その後、再開されたものの、打ち揚げ場所や日程が定着するまでには紆余曲折があったようです。当時は、手筒花火を頭上で揚げる名人がいたり、点火した大筒を担いだり、町ごとに特色を出していたようで、花火を揚げる順番を巡って町同士が喧嘩するなど、住民にとって強い思い入れのある大切な行事になっていたようです。また、子どもたちは12歳になると打ち揚げの準備などを手伝いながら、さまざまなしきたりや人づきあいを学び、成長していきました。少しずつ花火に触れることで、火薬の危険性についても学んでいったといいます。このように、豊橋の各町では人々の暮らしに花火が深く根づいていました。

[illegible]

[illegible]

昭和－平成

戦中戦後も途切れず受け継がれた〝手筒魂〟。

昭和20（1945）年6月の豊橋空襲による市中壊滅、進駐軍の戦後政策による花火の製造・打ち揚げ禁止など、戦中戦後は手筒花火の暗黒時代でした。しかし、物資がない戦時中や禁止令が出ている終戦直後にも内緒で花火を揚げていたようです。豊橋市民にとって、花火がいかに大切なものだったかがよくわかるエピソードです。その心意気は、現在にいたるまで連綿と受け継がれ続けています。

[illegible]

[illegible]

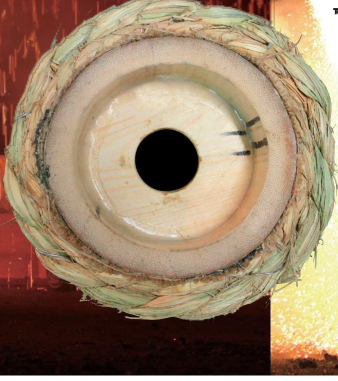
[illegible]

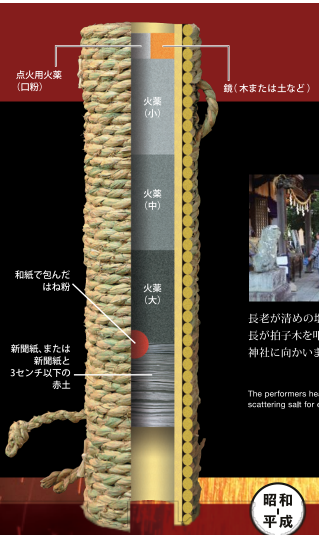
What is Tezutsu Hanabi ?

Tezutsu Hanabi are said to have originated in Toyohashi.
The person performing holds the hand-held firework under their arm tightly with both hands as it shoots off a huge pillar of flame.
At the end, the end of tube explodes loudly.
This is called the “hane,” and it displays the dynamism of the performance.
Tezutsu Hanabi have been practiced at dedicatory events and rituals, and have been used for praying for agricultural fertility, good health, and family prosperity.
Now, it is performed in various events, as well.

How Tezutsu Hanabi are made

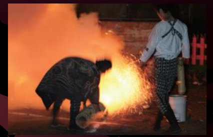
To make the body of the firework, a piece of “moso bamboo” approximately 10cm in diameter and 70 cm in length with no joints is wrapped tightly with a straw rope.
The tube is filled with approximately 1.8kg to 3kg of black gunpowder made from a mixture of charcoal, nitric acid, and sulfur.
Traditionally, the person who launches the firework completes all of the preparations to make the firework, from cutting the bamboo, to making the gunpowder mixture, to packing the gunpowder into the firework.





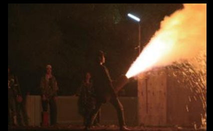
手筒放揚

手筒花火が神前に捧げられる手筒放揚。手筒衆たちの勇壮な姿とオレンジ色の炎が見る者の心をとらえます。



点火

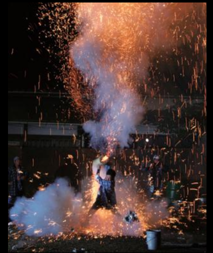
点火役が手筒花火に火を着け「よし！」の掛け声をかけると、揚げ手が持ち上げます。



筒を平行に持ったまま放揚位置まで下がり、筒先を垂直に立てて、見物衆が正面に見える方に体を向けます。

炎の高さは10メートルにも

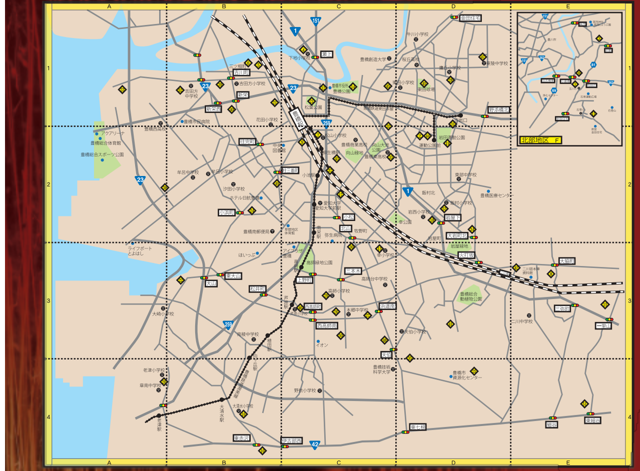
手筒衆が、火の粉を体に浴びながら打ち上げる花火。炎の柱は高さ10メートルにも及び、ほかにはない壮大なスケールで見物衆を魅了します。



クライマックスの“ハネ”

巨大な火柱が30秒ほど上がった後、手筒の底が破裂し「ズドン！」という大音響とともに揚げ手の足元に炎が吹き出します。これが「ハネ」といわれる手筒花火のクライマックスで、周囲の空気は最高潮に達します。

豊橋手筒花火マップ



3月

第4土曜日

① 高井正八幡社
② 北春日公園

4月

第1土曜日

③ 素盞嗚神社

第2土曜日

④ 豊麻神社
⑤ 素盞嗚神社
⑥ 三ツ相町水神社
⑦ 松山小学校

第3土曜日

⑧ 大脇遊園

第4土曜日

⑨ 中郷素盞嗚神社

7月

第2土曜日

⑩ 東赤沢児童遊園
⑪ 東脇神社

第3金曜日

⑫ 吉田神社

8月

8月15日

⑬ 幸小学校

9月

第2土曜日

⑭ 豊橋球場

10月

第1日曜の前日の土曜日

⑮ 湊神明社
⑯ 大清水小学校

第1土曜日

⑰ 諏訪神社
⑱ 大山津美神社
⑲ 岩田八幡宮・琴平神社
⑳ 老津神社

第1土・日曜日

㉑ 羽田八幡宮・松葉公園

第1または第2土曜日

㉒ 若宮八幡社

10月

第2土曜日

㉓ 五郷神社
㉔ 小浜神明社
㉕ 草ケ部神明宮
㉖ 高塚神明社
㉗ 逆戈神社
㉘ 小鷹野公園
㉙ 高師小学校
㉚ 若松中央公園
㉛ 平川神明社
㉜ 瓦町神明社・宮本公園
㉝ 三ノ輪中央公園
㉞ 東山保育園
㉟ 天伯山神社
㊱ 福本八幡社
㊲ 小池神社
㊳ 牟呂神宮神明社
㊴ 吉川神明社・吉川公園
㊵ 新栄神明社
㊶ 伊豆栄神社

10月

第2土曜日

㊷ 大岩神明宮
㊸ 神明社

第2土曜または日曜日

㊹ 北春日公園

第2土曜・日曜日

㊺ 東田神明宮・東田球場

第2日曜日

㊻ 芦原小学校
㊼ 忠興八幡社
㊽ 天伯神社
㊾ 橋良神社
㊿ 天伯神社

上旬

(51) 八柱神社

第4土曜

(52) 烏塚神社
(53) 飯村公園

[illegible]